



「座間」の移り手法

「座間」 「お手つき」

どこにでもあるオフィス空間の中にチェアとして一つ、「座布団に座るだけの空間」を作り、腰を掛けるだけでなく、日本の正座やあぐらなどの動作を可能にした座布団一枚の間「座間」

ここで正座をするときに所作が行われることによって、通常の座とは異なり気持ちを切り替える「気持ちの移り」が行われる所作を通すことで一つ座る間としての空間がオフィスに生まれる。

建築としてオフィスに各々の座間が生まれ、オフィスの味気ない空間にインテリアとして和の空間を作り出す。

